

## 松本市PTA連合会と教育委員との意見交換会（令和5年9月21日）概要

### 1 教育長あいさつ要旨

- ・小中学校における制服・新入学用品等の購入の現状について、保護者の皆さんのご意見をお聴きしたい。
- ・令和3年6月頃から、ジェンダーレスの制服を求める保護者や当事者の声を受け、多様性を認められる学校の仕組みについて検討したいと考えてきた。
- ・令和4年9月定例市議会で、制服・学用品購入に係る保護者負担が大きく、世帯によっては苦しい実態を、教育委員会としてどう考えるかという一般質問があった。
- ・文部科学省は隔年で子どもの学習費調査を実施しているが、令和3年度の調査では、公立小学校は年約35万円（2年間で3万円近く上昇）、公立中学校は年約54万円（2年間で5万円近く上昇）で、今年度の調査では、物価高騰を受けて、家庭の負担がより大きくなっていくことが予測される。
- ・制服の問題にとどまらず、運動着や学用品を含め、保護者が費用を負担しているものについて、特定の物品や販売店を指定するのではなく、「このような色・形であればどこで何を買ってもよい」といった、多様な選び方を許容できる仕組みにしていけないかと、教育委員の皆さんと話し合っている。
- ・まずはPTAの皆さんと、10月は中学生と、11月は学校関係者と懇談しながら検討していきたい。

### 2 主な意見内容

#### (1) 引き出し

- ・小学校卒業後、ごみとして捨てたかもしれない。
- ・卒業後、家に持ち帰ってきたが、雨の日の長靴置きになっている。正直に言うと家では不要。学校内で使い回してほしい。

#### (2) クーピー、はさみ

- ・クーピーは幼稚園等で購入した方も多いのではないか。幼稚園の時に購入したものも含め、家に3セットくらいある。
- ・はさみも安全に配慮されたものであれば、一律でなくてもいい。

#### (3) 鍵盤ハーモニカ

- ・音楽会の時に兄弟間の貸し借りをさせてもらえないと、使用頻度が低いにもかかわらず、子どもが3人いると3台溜まってしまう。

#### (4) 算数セット

- ・鍵盤ハーモニカ以上に使わなかった。細かい名前シールを貼るのが大変だった。

- ・働いている保護者が多い中で、作業負担を減らせないか。
- (5) 運動着
- ・夏の運動着は洗い替えが必要なので、その分費用が増す。
  - ・学校指定の運動着とファストファッションの耐久性の違いが分からない。コストに見合った上等なものだから高いのか。子どもの成長の早さを考えるとそこまで素材の良さを求めるのか。
- (6) 通学靴
- ・子どもが通っていた中学校だけ指定されている。真っ白な紐靴で、冬もそれで通っていた。長い距離を歩くので買い替えも必要になるし、指定店に連絡を取って受け取らなければならなかった。
- (7) 上履き
- ・靴屋では指定でないものもたくさん売っている。ある程度の色や仕様が決まっていれば、何でもよいのではないか。
- (8) カバン
- ・指定のカバンとは別に、運動着等を入れた任意のスポーツバッグを持っていくので、カバンも指定でなくてもよいのではないか。
  - ・端末を持ち帰ることを考えると、時代と共に形も変わるのではないか。
- (9) ポロシャツ
- ・制服（夏服）を高いお金を出して買っているのに、夏用にポロシャツを買わなければならないのは無駄が多い。
- (10) 制服
- ・子どもの通う学校では制服が変わり、多少選べるようにもなり、子どもたちの評判は良くなった。
  - ・男女の価格差や学校による価格差もあるようだ。
- (11) 全体を通して
- ・ある程度買うものが決まっていたほうが楽。いろいろ用意しなければならないので、指定されたものを買うほうが早いというのはある。
  - ・制服、運動着、帽子、カバンなどに校章は必要なのか。校章がなければ、リサイクルの幅も広がる。
  - ・最終的に手元に返っても日常的に使わないものは、公費で負担してもよいのではないか。
  - ・制服も学用品も、揃えるのは学校にも理由があると思うが、それをもう一度、本当にそうかなと検討してはどうか。そろえるのはなぜ？ということを再検討する必要がある。
  - ・公費として学校で買ってもよいものを整理したほうが良い。なぜ必要か？本当に必要か？学校もきちんと説明し、保護者も理解できればよ

い。できるだけ、本当に必要でないものは再利用などを工夫する方向であるべき。ただ、先生方が買うべきというなら尊重したい。

- ・子どもたちの多様性を、いろいろな意味で生かしてあげたい。「～ねばならない」というのではなく、選択できれば良い。
- ・時間をかけて、保護者・児童生徒・学校が話し合うと良い結果が出る気がする。遠慮せずに話せる機会をもつのが良いと思う。

## (12) 販売指定店について

- ・指定されたほうが楽というのはある。ただ、それによって値段が高くなっているかもしれないし、難しい。
- ・ズボンの丈のお直しなど親切な対応をしていただいている。助かってはいるが、値段を見ると高いかなとも思う。大型店で買われてしまうと、地元洋品店は経営が厳しくなるという心配はある。
- ・靴のサイズも揃っていて便利ではある。
- ・保護者の負担を減らすことを一番に考えるのであれば、仕方ない部分もあると思う。
- ・段階的に指定をなくす方法もあるのではないか。運動着の場合、ネット通販や量販店でも同じようなものが揃えやすいのは、夏の運動着だと思う。例えば、夏のものから指定をなくすとか、最初のものだけは指定店で購入し、買い替えるときには何でも良いなら納得がいくのではないか。
- ・指定店が各校1～2軒ずつしかないのも、もう少し競争や市場原理が入ってもよいのではないか。食料品は少しでも安いものを買うよう努力をしているのに、学用品はワンプライスというのは、説明が難しい時代になっているのではないか。